

令和3年 第4回 定例会

12月1日～12月14日

22案件

議案 20案件

諮詢 1案件

意見書案 1案件

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

- 質疑▼**条例の改正の意図は、
答弁▼民間企業から人材を借りることで、様々な行政課題を解決することが目的である。
- 質疑▼**どのような分野を想定しているのか。
答弁▼ICTや基幹産業である農業分野を想定している。
- 質疑▼**この条例の内容では具体的な給与額の指標がない。理由や給与額の基準などを規則等に定める考えはあるか。
答弁▼特例なども含めて一定の指標などを規則に設けてい

こんな質疑がありました。

きたい。

市の業務内容の高度化、多様化が進む中、市の課題解決のため、民間人材の給与実態に合わせることができるように、一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正を可決しました。

Pick up 1 伊達市発展の人材確保へ

総務文教常任委員会



Pick up 2 大滝区の交流施設管理者決まる

大滝区内にある5施設の管理者をNPO法人大滝まちづくりサポートに選定しました。期間は令和4年4月1日から3年間。

こんな質疑がありました。

質疑▼引き続き管理者となる団体の取り組みは前向きか。

答弁▼いろいろな自主事業を提案しております、優徳農村公園の多目的教室の利用など積極的にまちづくりに参加している。

質疑▼各施設の利用者から要望を聞くためにアンケートなどを実施しているか。

答弁▼実施していないので、目安箱などを設置できないか管理団体と検討していく。

質疑▼審査結果では、情報発信の評価があまり高くない。

今後情報発信をどのように



に考えているか。

答弁▼管理団体に発信していくように要望していく。

こんな質疑がありました

質疑▼コムギなまぐさ黒穂病とは。

答弁▼成長した穂が黒くなり腐ってしまう症状。その結果、収穫量が激減する。伊達市内でも発生している。

質疑▼消毒設備導入の経緯は。

答弁▼農協から要望があった事業。理由は2点、様々な病気の蔓延を防止すること、そして、種子は市内の小麦農家へ供給しているが、今後、ホクレンなど販売するために液状農薬による消毒が必要

Pick up 3 高品質な種子用小麦 生産の安定化

コムギなまぐさ黒穂病のまん延防止を目的とした液状農薬による消毒設備を導入する伊達市農業組合に対し、北海道の「地域づくり総合交付金」を活用して事業費の一部を補助する経費890万円を可決しました。

なため。



コムギなまぐさ黒穂病を発病した種子用小麦

Pick up 4 新型コロナでの休業補償

新型コロナウイルス感染症の影響で、社会教育施設を運営する指定管理者の経営が厳しい状況にあるために管理料追加分として1,600万円を可決しました。

こんな質疑がありました。

質疑▼減収の状況、利用者数や休館日数はどうなっているか。

答弁▼平成30、31年との比較では体育館アリーナは約225万円の減。利用者数は約半減の3万人の見込み。プール、トレーニング室は、1千万円の減、利用者は6割の減。休館日数は現時点で67日間となっている。



気になる議会用語

「議会改革」

全国各地の議会情報でよく耳にする言葉「議会改革」みなさんは何を連想しますか？

質問▼「開かれた議会」、「市民参加」「議会運営」そのような言葉は聞いたことがあります。

具体的にはどのようなことをするのでしょうか？

回答▼議会改革と言つても全国の自治体で取組は様々で、いろいろ取り組んでいるよ。

情報公開という点では、議会資料の閲覧、議会中継のネット視聴など、市民が参画するという点では、ワークショップや議会懇談会などの策定、議員間討議、ICT活用など。

質問▼伊達市の取組は？

回答▼議会改革プロジェクトチームを立ち上げて、慎重に議論を重ねて進めているところだよ。